

第37回まちcomiリサーチ 『夏休みの安心安全について』

ドリームエリア株式会社は、無料モバイル連絡網『まちcomiメール』を利用している保護者の方々を対象に、『夏休みの安心安全について』のアンケートを実施いたしました。

子どもとの会話を増やして、子どもの行動の把握や約束事を順守させるといった回答や、猛暑の影響が反映された回答も多くいただきました。皆様の夏休みが無事に過ごせますように！

<調査概要>

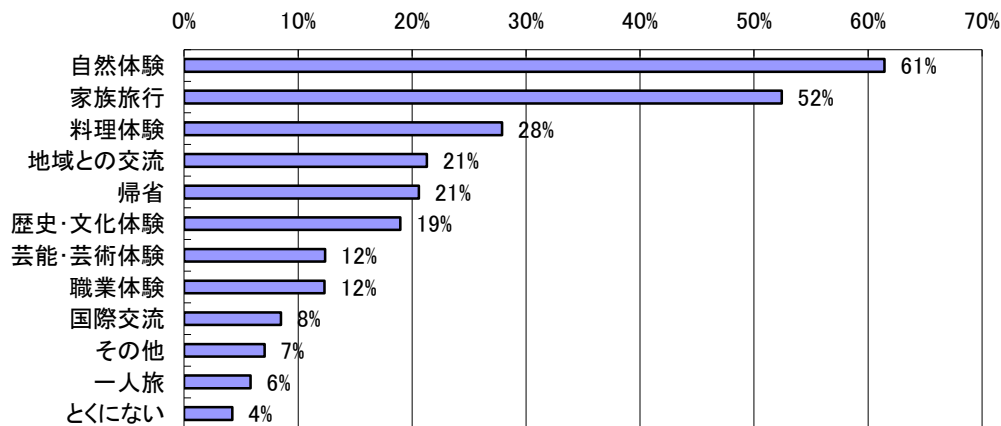
調査期間	2012年7月19日(木)～2012年7月22日(日)
調査方法	モバイルサイト上のアンケートフォームにて回答
調査対象	『まちcomiメール』に登録されている主に子どもの保護者
調査対象数	920,169名
有効回答数	28,351件
寄付金額	今回28,351円 寄付先:NPO法人 チャイルドライン支援センター

<質問項目>

1	夏休みに子どもにどんな体験をさせたいですか？
2	夏休み中に心配なことはなんですか？
3	子どもが一人で出かけるときに約束していることはありますか？
4	夏休み中の子どもの安全を守るために行なっていることは何ですか？(自由回答)
5	子どもの学年を教えてください。
6	あなたの性別を教えてください。
7	あなたの年齢を教えてください。
8	ご職業を教えてください。
9	お住まいの地域を教えてください。

質問1:夏休みに子どもにどんな体験をさせたいですか？

— 自然・家族・料理がTOP3



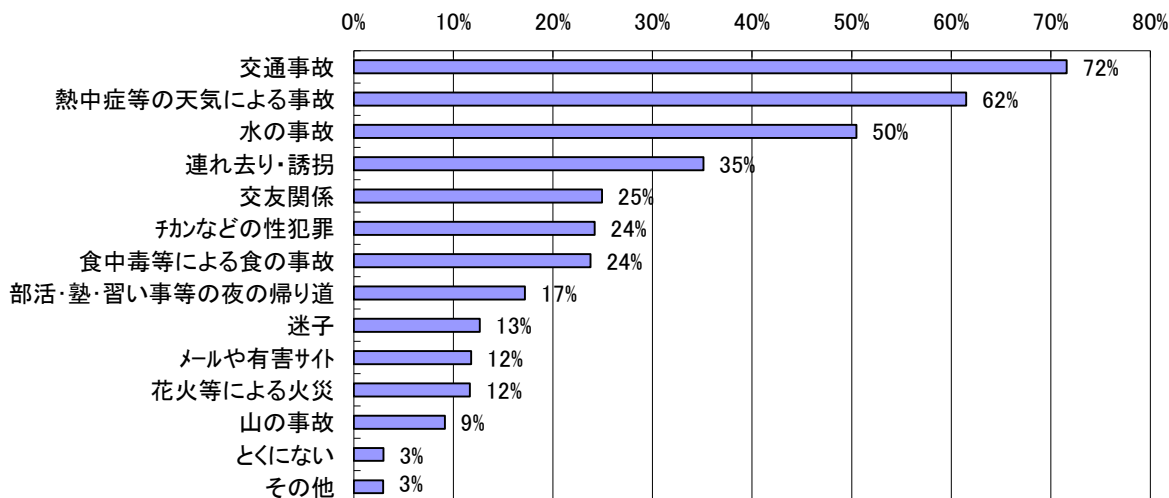
61%の方が自然体験をあげました。自然を感じる機会が減ってきている中、みなさんどんな自然を満喫されるのでしょうか。

第二位は、家族旅行で52%。長期の休みの中で親子水入らずの時間を希望される方が多いようです。

第三位は、料理体験で28%。親子で一緒に作る料理はきっとおいしいでしょうね。

質問2:夏休み中に心配なことはなんですか？

— 交通事故・熱中症・水の事故がTOP3

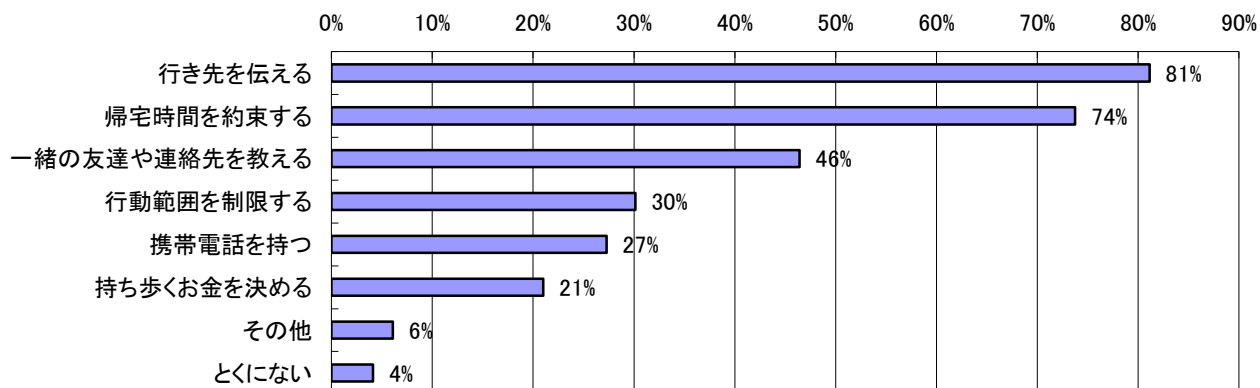


72%の方が交通事故をあげました。子どもの行動範囲も広がるため、心配される方が多いようです。次に、最近の天候を反映して熱中症などの天気に関する事由が62%。水筒と帽子は必携させるというご意見を多くいただきました。

第三位は、水の事故で50%。水辺には子どもだけでは行かせないように言い聞かせたり、ライフジャケットの購入をされた方もいらっしゃいました。

質問3: 子どもが一人で出かけるときに約束していることはありますか？

— 「行き先を伝える」「帰宅時間を約束する」がTOP2



81%の方があげたのが「行き先を伝える」でした。子どもの行動・することを把握しておくようにしている保護者の方が多いようです。「GPS携帯で子どもの位置を把握する」といった意見もいただきました。第二位が「帰宅時間を約束する」で74%。一位二位ともに、子どもが出かける前にしっかりコミュニケーションをとるようにされているようです。

質問4:夏休み中の子どもの安全を守るために行なっていることは何ですか?(自由回答)

多くのご意見をご回答いただきました。 ※以下、一部抜粋したものをご紹介いたします。 回答数:9,971件

<総評>

子どもにさせたい体験として、家族や保護者と一緒にする体験をあげられた方が多くいらっしゃいました。自然体験や、料理が人気でしたが、歴史・文化・芸能・職業体験など、普段できない体験を幅広くあげていただきました。心配される事故も、コミュニケーションを子どもと密にとり、「いつ」「誰と」「どこに」いるかなどを把握することが事故を未然に防ぐうえで効果的なようです。

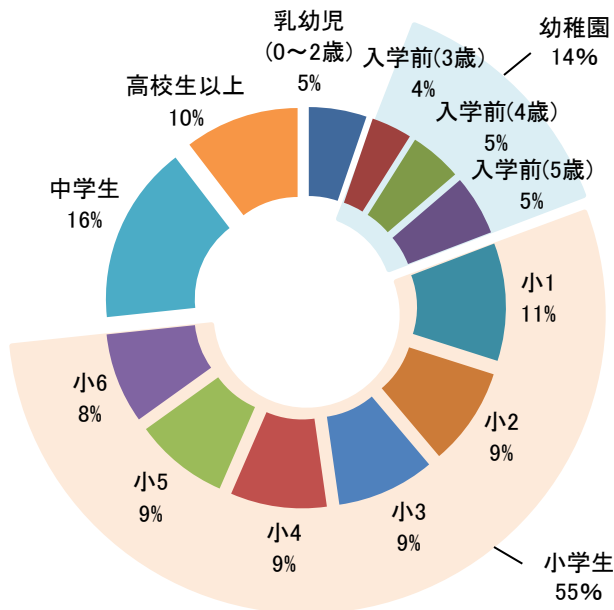
外出時に常に持たせるものとして、帽子・水筒・携帯電話(GPS機能付き)の3点セットをあげられた方が非常に多くいらっしゃいました。今年の猛暑の対策を取られているようです。また、携帯電話を利用した子どもの位置・居場所確認も重要なツールとして利用されているようです。

<いただいたご回答>

- ・子供用の携帯を持たせて、位置情報が親から自由にわかるようにする。
- ・子供も大きくなって来ると行動範囲も広がりなかなか目が行き届かなくなりますが必ず携帯を持ち行き先や遊び相手を言って行くように約束してます。
- ・毎日、親は子の、子は親の居場所やスケジュールを知っておくようにしている。
- ・普段から「約束を守る」「嘘をつかない」を親子ともに守る約束をしている。
- ・家族できちんと話し合って約束事と違反した場合のペナルティーを決めています。
- ・みんながしているから…という理由で許さない。ウチのルールは守らせる。
- ・基本的に1人や子どもだけでは散歩かせません。保護者同伴です。
- ・必ず子供と親子の会話を持ち、子供の行動を束縛するのではなく、子供の行動を見守るようにしています。
- ・子供との会話で誰とどこで遊び 何時に帰る この3つは 押し付けになると子供はうとうしがりだすと思うので私はいつも自然な会話の中でそれを心配しているとほのめかしていると今は自然と子供自ら必ず言うてからでかけるようになってます。
- ・常に家庭でのコミュニケーションを計ることと、親との信頼関係を作る。お互い信じる事、最終的にそこから安心、安全につながると思う。
- ・水辺には必ず同伴する。本人に事故や色々な危険性を確認させる。
- ・水難事故は親子で学校での講習を受けて対策をとった。
- ・帽子をかぶる事と、水分補給する為に水筒やペットボトルの飲料水を持つ事を、約束してます。
- ・子供達だけでなく、親子で知り合いになるようにしています。ママ同士の交流。
- ・行動範囲にある地域の行事に参加。(顔を覚えてもらって、何かの時に助けてもらえるように。)
- ・ウォーキングをかねたパトロール
- ・誰にでも大きい声で挨拶をするように言っている。
- ・核家族で共働きな為、中学生の娘はたいてい1人になってしまう。地域や自治体の安全な居場所があると嬉しい。
- ・夏休み前に、日頃の会話内容と時間を増やし、日常生活に潜む危険とレジャー中の危険についてリスクアセスメントを行います。「基本は自分の命は自分で守る」が大前提だと言い聞かせます。
- ・報道されている事件や事故について 話題にして 話し合う。
- ・どんな事が起こるか子供たちに考えさせもしも事故が起きた場合の対処方法なども教えてます。

質問5: 子どもの学年を教えてください。

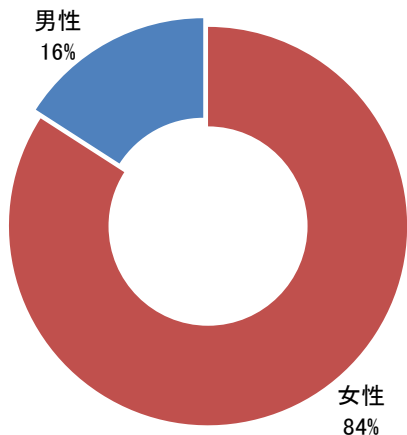
— 半数以上が小学生の保護者



お子様の数は48,448人になりました。内訳は、55%が小学生の保護者となり、小学生の中でも1年生の保護者の登録が最も多くなりました。一人当たり1.7人のお子様がいらっしゃるようです。

質問6: あなたの性別を教えてください。

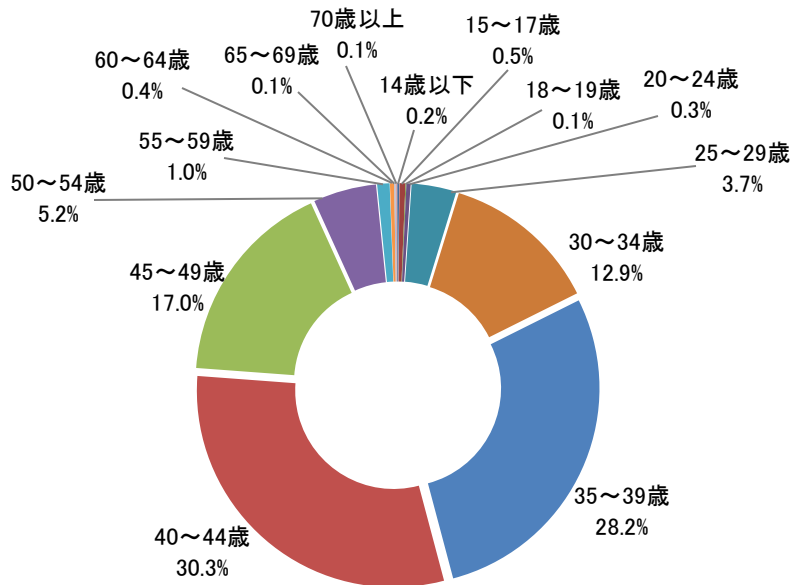
— 84%が女性の回答



女性の回答が84%となりました。子育てに奮闘される「お母さん」の貴重なご意見を多くいただきました。

質問7: あなたの年齢を教えてください。

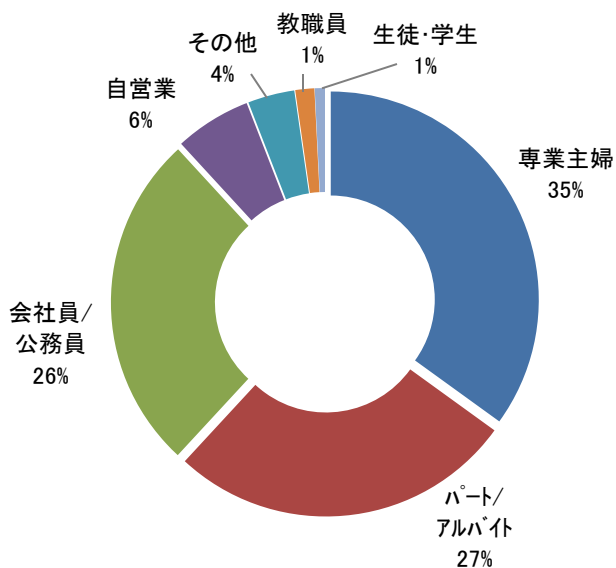
— 約9割の方が30代～40代



35歳～44歳の方が約6割。30代～40代の方が約9割と、子育て真最中の保護者の方にご回答いただきました。

質問8: ご職業を教えてください。

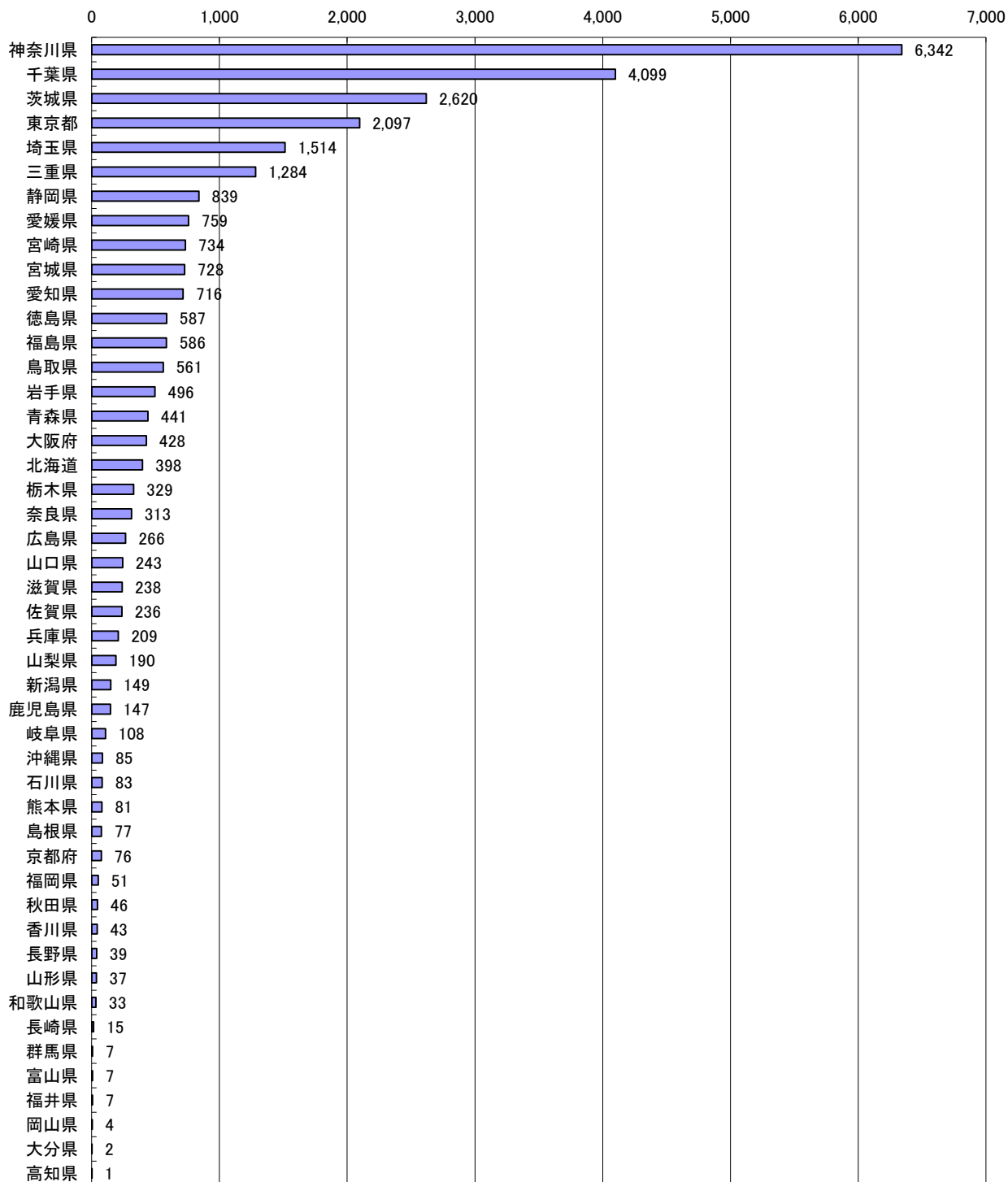
— 3人に1人は専業主婦の方。



専業主婦の方が35%。何らかの仕事をしている方が60%となりました。

質問9: お住まいの地域を教えてください。

— 主に南関東の方にご回答いただきました。



～まちcomiリサーチ: 寄付金報告～

まちcomiリサーチでは、【回答いただいた人数×1円】を各ボランティア団体やNPO法人へ寄付させていただいております。今回の皆様のご協力による寄付額と、現在までの合計額をご報告させていただきます。

第37回リサーチは、[ご回答いただいた人数×1円](#)をまちcomiから「[NPO法人チャイルドライン支援センター](#)」へ寄付します。

今回は、子どもたちが困惑していることや不安な気持ちを受けとめ、自分らしく生きることをサポートするため子どもたちの心の叫びを受け止める活動をされている、「チャイルドライン」へ微力ながらご支援させていただきます。

=[子どもの心に寄り添う電話「チャイルドライン」](#)=
フリーダイヤル 0120-99-7777
 (月曜日～土曜日 午後4時～午後9時)

- 今回の寄付額: 28,351円
- 今回までの合計額: 607,682円
- 今回の寄付先: [認定特定非営利活動法人 チャイルドライン支援センター](#)

◆ 今までに寄付をさせていただいた施設

- ・NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク オレンジリボン
- ・NPO法人 チャイルドライン支援センター
- ・国際援助団体(NGO) セーブ・ザ・チルドレン